



山辺の 御井(みい)を見がてり 神風の 伊勢おとめども 相見つるかも

4月の万葉集 巻1-81 長田王

(山辺の御井(みい)を見に来て、はからずも、神風吹く伊勢のおよめたちに出逢うことができた。)

出会いと人のつながりを大切に、そして挨拶も!

今年は春の訪れが早く、令和5年度がスタートした4月1日(土)には、満開だった桜の花も散り急ぎ、今はフリージアやネモフィラ、ハナミズキなど色とりどりの春の花が今が盛りと咲いています。

小中学校では6日(木)に、幼稚園・こども園では10日(月)に令和5年度1学期の始業式がありました。また、入学式は小学校が、7日(金)に、中学校が8日(土)に、そして幼稚園・こども園の入園式は11日(火)に行われました。

4月は何と言っても「出会いの季節」です。新年度が始まる中で、会社や公務員など社会全般に人々の異動があり、新たな人との出会いがあります。学校・園でも、同様に子どもたち同士の出会い、子どもたちと先生方との出会い、保護者の方と先生方との出会い、そして地域の人たちとの出会いがあります。

昨年の4月号に「**出会いは神様の贈りもの**」と書きましたが、人それぞれ出会いの数に違いはあるものの、人の出会いは本当に大切にしたいもので、その出会いが人と人を結び付け、やがて「**人のつながり**」となり、その人の人生を豊かにしていく大いなる源になります。これからも、人の出会いとつながりを大切にしてほしいと思います。

ところで、このような出会いを形づくるきっかけは、やはり「あいさつ」だと思います。よく知らない人でも、「おはようございます」や「こんにちは」といった簡単なあいさつを交わすだけでも何となく心が安らぎます。あいさつは漢字で「挨拶」と書きますが、もともと仏教の禅宗に由来する言葉で、問答を交わして相手の悟りの深淺を試みることを「**一挨拶(いちあいいつさつ)**」と言いました。「**挨拶**」という漢字には「**押す、互いに近づく**」といった意味があり、「**拶**」には「**迫る**」という意味があります。

禅宗においては、相手の修行の程度を試すために問答を交わして迫ることが本来の意味でした。しかし、現代では、一般的に人と出会ったり、別れたりする時に儀礼的に交わす言葉(おはよう、こんにちは)や動作(お辞儀や会釈)を示すようになったようです。



あいさつは人と人の扉を開く言葉であると同時に友好の意思や親愛の情が込められていることも大切な点です。

私はかつて、薬師寺の執事長である大谷徹英さんの講演を聴いた際に徹英さんが「挨拶の大切さ」を説いておられたことを思い出します。徹英さんが年間約300回の講演で全国を飛び回っておられる中で、「訪れた先がうまくいっている会社か、あるいはいい学校であるか、またはいい家庭であるかどうかは一目でおおよそわかってしまう。その尺度が『挨拶』だ」と言われたことです。気持ちのいい挨拶をしてくれた人の企業や学校などは、あとから調べてみるとうまくいっている場合が圧倒的に多いとも言っておられました。「挨拶」は人と人をつなぐコミュニケーションツールの中で一番大事なものだとも。

私たちが、初対面の人の前や気心の知れた人がいない場所では、誰でも緊張しがちです。そんなとき「挨拶」を交わすことで友好の意思を表すことになると同時に挨拶の一言で親愛の情も感じ取れるからだと思います。出会った人に対して心を開いて交わす挨拶は人間関係を築く魔法の言葉だと思います。



教育委員会関係団体の取組

令和5年度 教育委員会の新規主要事業について

令和5年第1回広陵町議会(3月議会)招集の日に、令和5年度における山村町長の施政方針とともに、私の教育長としての施政方針を述べさせていただきました。

下記に、令和5年度の教育委員会が進める新規の主な事業をお示しします。

○学校給食費改定に伴う補助事業

新型コロナウイルス感染症、物価・燃料高騰の影響により、従来の学校給食費では学校給食の材料の確保が難しく、給食費を4200円から4600円に改定します。ただし、令和5年の11ヶ月間は値上げ分の400円を公費で負担し、保護者の経済的負担の軽減を図ります。

○スクールロイヤー制度導入事業

今般、学校が直面する諸問題(いじめ、不登校、ヤングケアラー、子どもの貧困等)は複雑化し増加傾向にあり、これらを法的側面から対処することと教師の業務の効率化と負担軽減を図ります。

○インクルーシブ教育推進事業

町立小学校に在籍し、特別な支援が必要な児童数は年々増加していることから、療育分野の作業療法士が学校現場に出向き担任等に対し、子どもの指導・支援方法を助言願うものです。

○まちじゅう図書館

「もっと身近に図書館」をコンセプトに、いつでも本が身近にあるまちじゅうに本がある町を目指します。



○照明のLED化更新(ESCO事業)委託業務

小中学校及び図書館の照明を民間事業者のノウハウを活用するESCO事業によりLED化へ更新します。

○図書館ホームページ委託事業

図書館のホームページは作成から20年程度経過しており、ユーザビリティやアクセシビリティ・ユニバーサルデザインへの対応とあわせて、住民のサービスを向上させます。

広陵中央公民館が開館50周年を迎えました!

令和5年4月1日、広陵中央公民館が開館して50年を迎えました。この間、多くの町民の皆さんに様々な学習活動や文化活動に利用していただき、新たな出会いや交流の場となっています。今まで以上に、文化芸術を核にした多くの人々がつながり合える場として、また文化芸術の創作、発信拠点として更なる歩みを進めていきたいと思います。

その節目となる50周年を記念して、4月1日(土)の正午から中央公民館1階ロビーにて、「お箏クラブ 智の会」の小中高校生の6名とクラブ代表講師の白銀智子さんから演奏をしていただきました。日本の伝統楽器であるお箏の普及と演奏を通しての仲間づくりを目的に、この日は春をイメージした数々の曲を演奏していただきました。特にこの日は桜が満開で、それに合った「さくらさくら」や小学2年生の「チューリップ」の演奏がとてもかわいかったです。また、白銀さんと尺八クラブの坂口さんとのコラボ演奏、宮城道雄の「春の海」を披露していただきました。箏と尺八のいろいろな音色と2つの楽器のかけあいを楽しみむとともに心洗われるひとときを過ごさせていただきました。



学校の様子



奈良クラブによるサッカー教室!

3月22日(水)、真美ヶ丘第一小学校において、JリーグのJ3に昇格した奈良クラブのスタッフの方2人がサッカー教室として、1限目に4年1組を、2限目に4年2組を教えに来ていただきました。ウォーミングアップとしてビブスを頭に載せて落とさないようにしながらの鬼ごっこに子どもたちはキャーキャーと歓声を上げながら楽しんでいました。次に1人1個のボールでのトラップやドリブル、2人組になってのボールコントロールでは始めはぎこちなかった動きがあっという間に上手になっていました。



練習し、最後はサッカーの特性に触れる、5対5や6対6のゲームを思いきり楽しんでいました。令和5年度は真美ヶ丘第一小学校以外の小学校でもこのようなサッカー教室ができるように奈良クラブの方と調整していきたいと思っています。



各学校の入学式の様子(写真集)



東小学校



西小学校



北小学校



真美ヶ丘第一小学校

真美ヶ丘第二小学校



広陵中学校



真美ヶ丘中学校